

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果

保護者の皆さまには、日ごろから本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、この調査結果を踏まえ、児童の学力向上に向けた取組プランを作成し、学校の教育計画や日常の授業改善に取り組んでまいります。

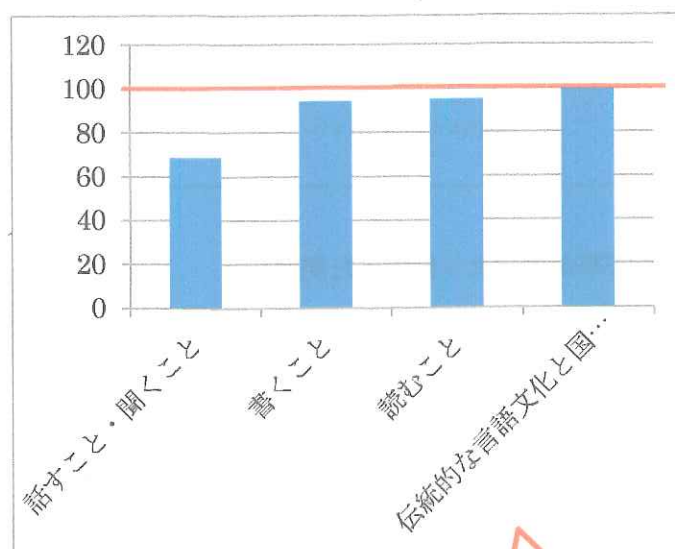
1 教科に関する調査結果

国語A 全国の平均正答率と比較して「同様」の結果でした。

① 領域別の結果

話すこと・聞くこと

この領域の問題は1問だけでしたが、正答率は、全国より「相当低い」という結果でした。無回答率は0%でしたが、互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行にそって話し合うことに課題があります。



書くこと

この領域の問題は2問で、正答率は全国と「ほぼ同様」か「低い」という結果でした。無回答率は0%でしたが、手紙の構成を理解し、後片付けを書くことに課題があります。

全国の平均正答率を100とした指数で4領域の状況を棒グラフで示しています。

読むこと

この領域の問題は3問で、正答率は全国と「ほぼ同様」か「相当低い」という結果でした。無回答率は0%でしたが、俳句の情景や表現の特徴をとらえて読むことに課題があります。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

この領域の問題は11問で、正答率はおおむね8割を超えている。8割を超えていない問題についても、全国と「ほぼ同様」である。漢字の読み書きについては、全国より「相当高い」という結果が表れている。

【正答率が全国より高かった問題】

4年生のみなさんへ

放送委員会

委員会活動の体験のお知らせ

1 日時 2月19日(月)～2月22日(木)
10時25分から10時45分まで

2 集合場所
多目的ルーム

3 参加 たいしょう
(1) 4年生の きぼう者

4 申し込み 期日と申し込み方法
(2) 2月14日(水)までに申しこんでください。
・ 登録前に申し込み用紙と箱が おいてあり
(4) 用紙にクラスと名前を書いて、箱に入れ
(5) てください。

5 お願ひ
・ 当日は、全員が体験できるように、放送委員の
(5) 指示にしたがってください。

7
—— 都の漢字の読みをひらがなで、
いに書きましょう。——
都のひらがなを漢字で、それぞれにね

正答

- | | |
|----------|---------------------------|
| (1) 対象 | 正答率 50% (+8)
無回答率 2.4% |
| (2) 希望 | 正答率 88% (+8)
無回答率 0% |
| (3) きげん | 正答率 100% (+6)
無回答率 0% |
| (4) じむしつ | 正答率 93% (+4)
無回答率 0% |
| (5) 置 | 正答率 81% (+4)
無回答率 0% |
| (6) しじ | 正答率 100% (+6)
無回答率 0% |

【正答率が全国より低かった問題】

- (問い) 野村さんは、どのようなことを報告していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 話し合って一つにまとまったことを報告している。
 - 2 一番多く出されたことを報告している。
 - 3 学級全体で取り上げてほしいことを報告している。
 - 4 同じ意見でも理由がちがうことを報告している。

石川 学級文集のタイトルについて、学級目標と同じように、明るくかやくイメージの言葉にするところまで決まっています。それをいえて、ここまでは話し合ったことを中島さんのグループから順番に報告してください。

中島 私のグループでは、まわりを照らすというイメージから、「太陽」がよいという意見にまとまりました。

西山 ぼくのグループでも、「太陽」がよいということになりました。理由は、太陽は明るいし、まわりをあたためることもできるからです。

野村 私のグループも、明るいというイメージの「太陽」がよいという意見がありました。しかし、学級の一人一人がかやくというイメージで「銀河」がよいという意見もありました。どちらもよい意見で、一つにまとまりませんでした。「太陽」だけでなく、「銀河」についても、ぜひみんなに考えてほしいです。

5 (報告が続く) 5

【報告場面の一部】

1
野村さんの学級では、学級文集のタイトルを決めています。次は、学級文集のタイトルについて、各グループで話し合ったことを報告しよう(「報告場面の一部」)です。これをよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

正答

- (1) 3 正答率 48% (-22) 無回答率 2.4%

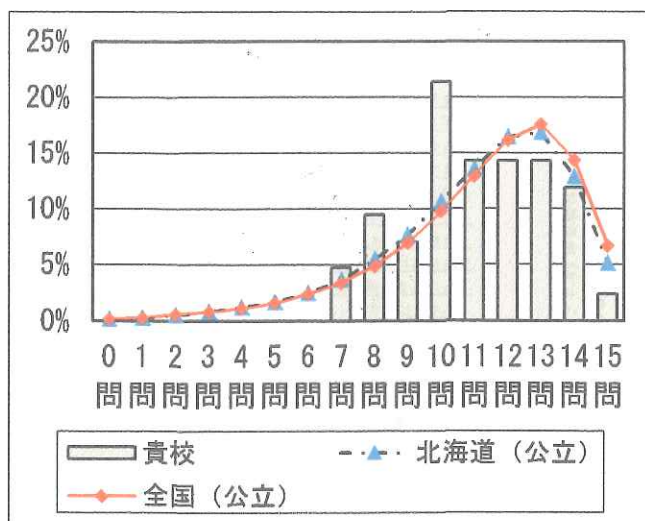
「4」と解答した児童が24%です。これは、「太陽」がよいという意見について、中島さん、西山さん、野村さんが、それぞれ、「周りを照らすというイメージ」「周りをあたためることもできる」「明るいというイメージ」という理由を報告した部分に着目し、「同じ意見でも理由が違う」と考えたからでしょう。

② 正答数の分布

正答数が6問以下の児童はいませんが、8問や10問の児童の割合は全国より高くなっています。一方、正答数が11問以上の児童の割合は、全国を下回っており、いわゆる中位層が多い状況が見られます。

学校では今後このような指導を行います。

- ① 司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの考えの共通点や相違点を整理するような学習の場面を多く作ります。また、特別活動において集団としての意見をまとめる話し合い活動を行うなど、児童の日常生活に生きて働くように多くの場を設定します。
- ② 漢字検定を継続し、全ての児童が、前の学年までに学習した漢字を正しく読んだり書いたりすることができるようにします。

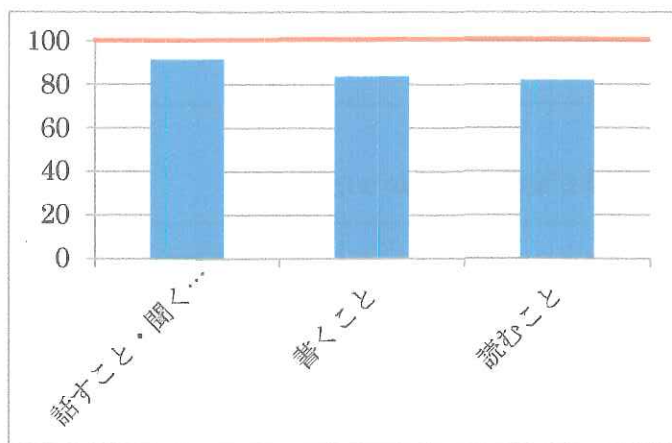


国語B 全国の平均正答率と比較して「低い」結果でした。

① 領域別の結果

話すこと・聞くこと

この領域の問題は3問で、正答率は全国と「ほぼ同様」か「相当低い」という結果でした。目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことに課題があります。



書くこと

この領域の問題は5問で、正答率は全国と「ほぼ同様」か「相当低い」という結果でした。目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことに課題があります。

読むこと

この領域の問題は3問で、正答率は全国より「低い」か「相当低い」という結果でした。自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることに課題があります。さらに、物語を読み、具体的な叙述をもとに理由を明確にして、自分の考えをまとめることにも課題があります。

【正答率が全国より低かった問題】

3

松ぞうじいさんはうなずいて、ふしくれたった手をちよつとかやすようにして、ちよつと顔にあたっている夕日の光をまきりながらいきました。

「近道をいそいで、ふもとの三本松まで案内するだ。山の日は、はようしむで。」

それは、おもいがけないほどやさしい声でした。うん、わかつてる、と、ひきかえうなずいたとき、山野さんは、わかいあつたふたりをばりどつとつしました。

（すず）

「んんんん」うつした言葉です。

さて、どれをえらばうかと、山野さんは、一まいずついねいに見はじめました。そのうち、山野さんの目がまろくになりました。

（き）きつねの言葉だ」

「わかいあつた大きなきつねと小さなきつね！大きなきつねは、ひたいに手をかざしています。

（いったい、いつ、うつしたんだ？）

しばらく見ていた山野さんの唇に、

「山の日は、はようしむで。」

といった、松ぞうじいさんのしずかな声がきこえてきました。

（さうか。たった二ひきだけ、のこっていたんだな）

山野さんはうなずくと、ひきだしのおくに、きつねの言葉をもつとしまいました。

（これは、なかつたことにしよう）

たまたまに火をつけた。

そして、そのたばこのけむりを見ながら、

（あのふたりに、おしいものでもおくらせてやろう。どんなものをよつとぶかな）

と、そんなことをせわしく考えはじめました。

（あまさん）「きつねの言葉」によるし

【話し合いの様子の一部】

横山 あまさん、この「きつねの言葉」を読んで、心に残ったところはどこかな。

（き）を示しながら「あたりの木がいつせいにさざっとゆれてよびました」というところで

大岩 A 感じがすると思っただけ。

田中 A 二人を導いたはずの言葉にきつねが導いてたんだから、きつねさつねだよ。

原 二人からさう思うの。

田中 （き）を示しながら「山野さんは、わかいあつたふたりをばりどつとつしました」とあるでしょ。

横山 そうだね。それに、（き）を示しながら「き、きつねの言葉だ」と書いてあるしね。

原 二人を導いたはずの言葉にきつねが導いてるってことは、やっぱりきつねなのかな。

きつねさつねだよ。他にもきつねって考えられるところはあつたかな。

大岩 （き）を示しながら「（き）で、松ぞうじいさんが「ついてきなせえ」と言っているところがあるでしょ。私は、ここからきつねってわかる気がするんだけど、どうかな。

原 私もそう思う。松ぞうじいさんは、きつねだからきつねのすんでいた穴の場所を知っていて、案内できたんだよね。田中さんの言いたことはさういうことではないかな。

田中 そうそう。

横山 （き）を示しながら「（き）にもあるよ。」「人間にうちどられたり」と書いてあるけれど、もし、松ぞうじいさんが本当に人間なら、「人間に」とか「うちどられた」とは言わな

田中 いと思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えることもできるな。

（き）からも、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。

（話し合いが続く）

三 【話し合いの様子の一部】の中の B のところを、田中さんは、『物語の一部』の言葉や文を取り上げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけを語っています。あなたが田中さんなどのようなわけを語りますか。次の条件に、合わせて書きましょう。

（条件）

- の横山さんのように、『物語の一部』から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書くこと。
- 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

田中の原稿用紙は下書き用紙で、後でも使わなくてもかまいません。原稿は、原稿用紙に書きましょう。机の隅から書きましょう。どちらの手で字を写さないで、続けて書きましょう。

100字 50字

正答例

設問三 「『松ぞうじいさんの目になみだがりりとひかりました』というところは、人間にうちとられてしまった仲間のきつねを思う気持ちが表れていると思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えたよ。」

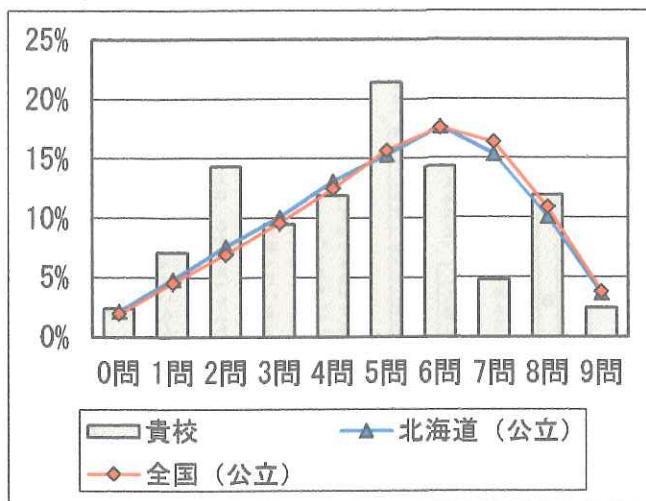
正答率 31% (－13) 無回答率 24%

② 正答数の分布

正答数が2問以下の児童の割合は全国より高くなっています。一方、正答数が6問以上の児童の割合は、全国を下回っており、いわゆる下位層が多い状況が見られます。

学校では今後このような指導を行います。

- ① 自分の考えを明確に伝えるために、目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えて書けるように指導します。さらに、読み手に自分の考えが伝わるような文章を書くために、目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くようにさせます。
- ② 物語を読んで感想を伝えあい、自分の考えを広げたり深めたりする授業を展開するために、互いの違いを認め合う学級の雰囲気を作るとともに、自分の考えをまとめ伝え合うことの意義を感じることのできる学習集団を作ります。



算数A

全国の平均正答率と比較して「同様」の結果でした。

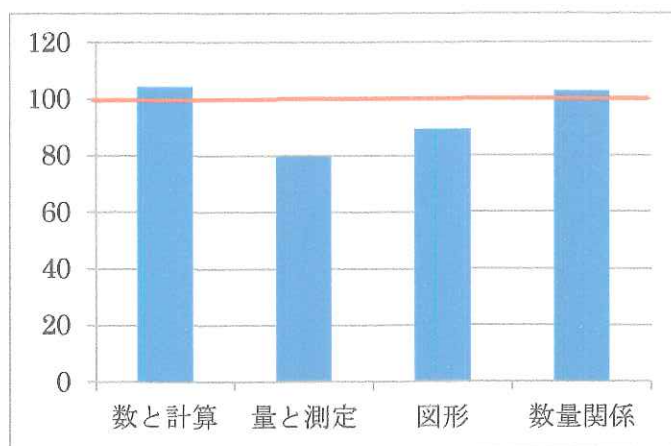
① 領域別の結果

数と計算

この領域の問題は8問で、正答率は全国より「やや高い」という結果でした。

量と測定

この領域の問題は2問でしたが、正答率は全国より「かなり低い」という結果でした。無回答率は0%でしたが、高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解することに課題があります。



図形

この領域の問題は2問でした。正答率は全国より「やや低い」「相当低い」という結果でしたが、立方体の面と面の位置関係を理解することは8割以上の子どもたちができていました。無回答率も0%でした。

数量関係

この領域の問題は3問で、正答率は全国と「ほぼ同様」という結果でした。未知の数量を表す□を用いて問題場面を除法の式に表したり、資料を二次元票に分類整理したりすることは、8割以上の子どもたちができていました。

【正答率が全国より高かった問題】

2

次の計算をしましょう。

(1) 123×52

(2) $10.3 + 4$

(3) $6 + 0.5 \times 2$

(4) $5 \div 9$ (商を分数で表しましょう。)

正答

(1) 6396 正答率 86% (+1)

無回答率 0%

(2) 14.3 正答率 83% (+4)

無回答率 2.4%

(3) 7 正答率 74% (+7)

無回答率 4.8%

(4) $\frac{5}{9}$ 正答率 81% (+12)

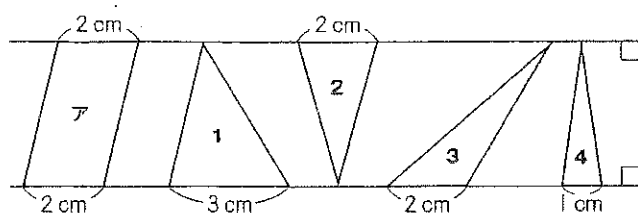
無回答率 4.8%

【正答率が全国より低かった問題】

5

平行な 2 本の直線を使って、平行四辺形や三角形をかきました。

下の 1 から 4 までの三角形の中で、平行四辺形アの面積の、半分の面積であるものはどれですか。すべて選んで、その番号を書きましょう。



正答

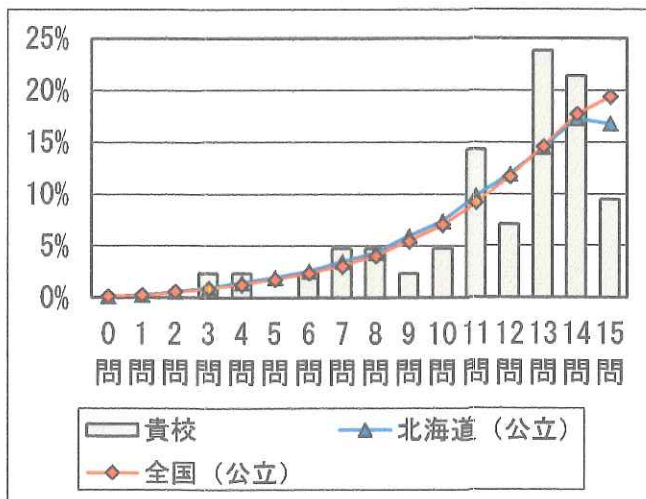
2, 3

正答率 50% (-17)

無回答率 0%

② 正答数の分布

正答数が3問・4問の児童の割合は全国よりやや高くなっていますが、正答数が11問以上の児童の割合は全国を上回っており、いわゆる階層が少なく上位層が多い状況が見られます。



学校では今後このような指導を行います。

- ① 量の比較や測定においては、既習の量の比較や測定の方法を活用するとともに、異なる種類の量において、共通する比較や測定の方法について実感的に理解できるようにします。
- ② 図形を構成する活動を通して、面積の求め方の理解を深めていきます。

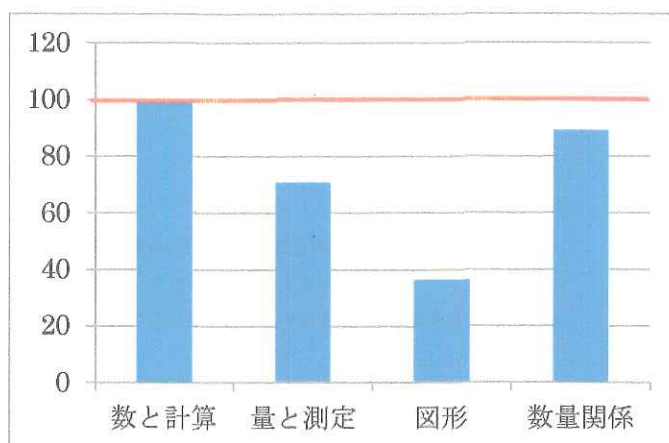
算数B

全国の平均正答率と比較して「ほぼ同様」の結果でした。

① 領域別の結果

数と計算

この領域の問題は5問です。算数の問題から見出した数量の関係を考察したりその関係を一般化して表現したりすることはよくできており、正答率は全国より「相当高い」結果でした。しかし、示された資料から必要な数値を選び求め方と答え方を言葉や式を用いて記述することに課題があり、正答率は全国より「相当低い」という結果でした。無回答率は、全国とほぼ同様です。



量と測定

この領域の問題は2問だけでしたが、正答率は全国より「低い」という結果でした。飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することや、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を言葉や式を用いて記述することに課題があります。

数量関係

この領域の問題は8問で、正答率は全国と「ほぼ同様」で、日常生活の事象を表やグラフの特徴をもとに考察したり表現したりすることができた子が多く、無回答率も全国を下回りました。

【正答率が全国より高かった問題】

1

1 から 9 までの数が書かれたカードが 1 枚ずつあります。



この中から 2 枚のカードを選んで、次のような 2 けたのひき算の答えについて考えます。

カードを使った 2 けたのひき算

選んだ 2 枚のカードを並べて、2 けたの整数を 2 つ作り、大きい数から小さい数をひきます。

例えば、 と を選んだ場合、 と並べると 19 がつくれます。 と並べると 91 がつくれます。

2 けたのひき算の式 $91 - 19$

2 けたのひき算の答え 72

選んだ 2 枚のカードに書かれた数どうしの差を、「カードの差」と呼ぶことにします。例えば、 と の 2 枚のカードの差は 8 です。

あやかさんは、カードの差が 1, 2, 3 の場合について、すべての選び方で 2 けたのひき算をしました。

カードの差が 1 の場合	カードの差が 2 の場合	カードの差が 3 の場合
$21 - 12 = 9$	$31 - 13 = 18$	$41 - 14 = 27$
$32 - 23 = 9$	$42 - 24 = 18$	$52 - 25 = 27$
$43 - 34 = 9$	$53 - 35 = 18$	$63 - 36 = 27$
$54 - 45 = 9$	$64 - 46 = 18$	$74 - 47 = 27$
$65 - 56 = 9$	$75 - 57 = 18$	$85 - 58 = 27$
$76 - 67 = 9$	$86 - 68 = 18$	$96 - 69 = 27$
$87 - 78 = 9$	$97 - 79 = 18$	
$98 - 89 = 9$		



カードの差が 1, 2, 3 の場合、2 けたのひき算の答えは、それぞれ 9, 18, 27 になっています。

- (1) カードの差が 4 の場合の、2 けたのひき算の式を 1 つ書きましょう。また、答えも書きましょう。

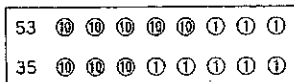
あやかさんは、カードの差が 2 や 3 の場合に、2 けたのひき算の答えがそれぞれ 18, 27 になることを、次のように図を使って考えました。

【あやかさんの考え】

カードの差が 2 の と を選んだ $53 - 35$ の場合

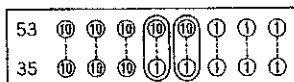
53 を 10 が 5 つと 1 が 3 つ、35 を 10 が 3 つと 1 が 5 つとみて、図 1 のように表しました。図の中の は 10 を、 は 1 を表しています。

図 1



53 から 35 をひくと、残るのは図 2 の の部分です。1 つの は、10 - 1 = 9 を表しています。

図 2

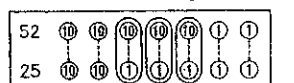


の部分が 2 つ残るから、2 けたのひき算の答えは、 9×2 で、18 になります。

カードの差が 3 の と を選んだ $52 - 25$ の場合

カードの差が 2 の場合と同じように考えます。52 から 25 をひくと、残るのは図 3 の の部分です。

図 3

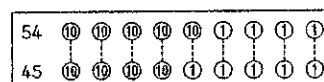


の部分が 3 つ残るから、2 けたのひき算の答えは、 9×3 で、27 になります。

- (2) カードの差が 1 の場合、2 けたのひき算の答えが 9 になることを【あやかさんの考え】と同じように考えます。

と を選んだ $54 - 45$ の場合では、どこが残りますか。

解答用紙の図に をかき入れましょう。



- (3) そうたさんは、カードの差が 1, 2, 3 の場合の 2 けたのひき算の答えを下のようにまとめました。



カードの差が 1 の場合、2 けたのひき算の答えは 9 です。
カードの差が 2 の場合、2 けたのひき算の答えは 18 です。
カードの差が 3 の場合、2 けたのひき算の答えは 27 です。
カードの差がわかれば、2 けたのひき算の答えはかけ算で簡単に求めることができます。

そうたさんが言うように、カードの差を使って、2 けたのひき算の答えをかけ算で簡単に求めることができるきまりがあります。

このきまりを、言葉と数を使って書きましょう。

そのとき、「カードの差」「2 けたのひき算の答え」の 2 つの言葉を使いましょう。

正答

(1) 式 $51 - 15$ 答え 36

正答率 88% (+12)

無回答率 2.4%

(2) $54 - 45$

正答率 86% (+4)

無回答率 4.8%

(3) カードの差に 9 をかけると、2 けたのひき算の答えになります。

正答率 50% (+11)

無回答率 14.3%

【正答率が全国より低かった問題】

2

ゆりえさんたちは、交流会に来てくれた地域の方 20 人に、お礼の手紙と記念品をいっしょに封筒に入れて送ろうとしています。

1 通送るのにかかる料金は、封筒の大きさと重さによって、次のように決まっています。

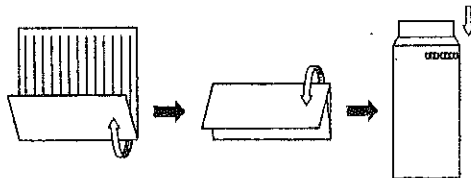
1 通送るのにかかる料金		
封筒の大きさ	封筒の重さ	料金
小さい封筒	25g 以内	82 円
	50g 以内	92 円
大きい封筒	50g 以内	120 円
	100g 以内	140 円
	150g 以内	205 円

手紙と記念品を小さい封筒に入れると、1 通の重さは 27g になりました。また、大きい封筒に入れると、1 通の重さは 36g になりました。ゆりえさんたちは、料金をできるだけ安くするために、小さい封筒に入れて送ることにしました。

- (1) 手紙と記念品を封筒に入れて、20 通送るときに料金について考えます。小さい封筒に入れて送る場合は、大きい封筒に入れて送る場合と比べて、何円安くなりますか。

求め方を言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

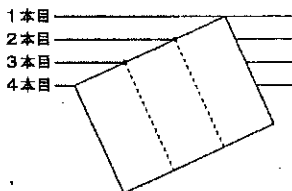
小さい封筒に入れるためには、長方形の形をした手紙を 3 つに折る必要があります。



ゆりえさんは、手紙をなるべくきれいに 3 つに折るために、先生から 3 等分する点を見つける方法を教えてもらいました。

3 等分する点を見つける方法

- ① 同じはばに並んだ 4 本の平行な直線の、1 本目の直線と 4 本目の直線に手紙の長い辺の両はしを合わせる。
- ② 2 本目、3 本目の直線と手紙の長い辺が交わった点が、手紙の長い辺を 3 等分する点になる。



同じはばに並んだ直線を 4 本使うと、直線と直線の間が 3 つになるので、3 等分する点を見つけることができるのですね。

正答

(1) 求め方

A 大きい封筒に入れて 20 通送るのにかかる料金から、小さい封筒に入れて 20 通送るのにかかる料金を引いている。

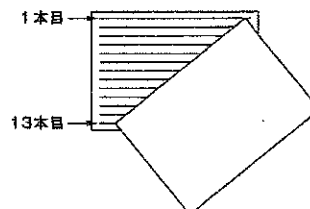
B 大きい封筒に入れて 1 通送るのにかかる料金と小さい封筒に入れて 1 通送るのにかかる料金の差を 20 倍している。

答え 560

正答率 26% (−14)

無回答率 7.1%

手紙の用紙には、同じはばに並んだ 13 本の平行な直線がひかれています。ゆりえさんは、手紙を 3 つに折るために、もう 1 枚の手紙の用紙を使おうと考えました。そして、下の図のように、1 本目と 13 本目の直線に手紙の両はしを合わせて、3 等分する点を見つけました。



- (2) 13 本の直線のうち、手紙の長い辺と交わった点が、その辺を 3 等分する点になるのは、上から何本目と何本目の直線ですか。答えを書きましょう。

正答

(2) 上から 5 本目と 9 本目

正答率 12% (−13)

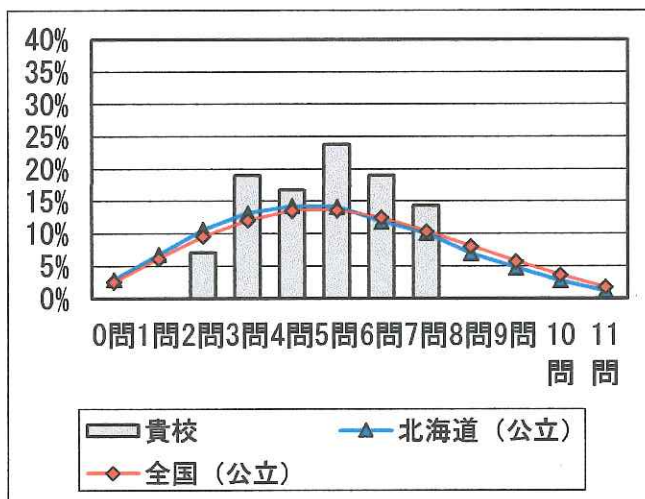
無回答率 4.8%

② 正答数の分布

正答数が3～7問の児童の割合は全国より高くなっており、上位及び下位層が少なく、中位層が多い状況が見られます。

学校では今後このような指導を行います。

- ① 日常生活の問題解決のために、情報の中から条件に合うものを選択し、数学的に処理することができるようにします。
- ② 身近なものに置き換えた時の基準量・比較量・割合の関係を的確にとらえ、判断の理由を数学的に表現できるようにします。



2 児童質問紙に関する調査結果

全国の児童と大きく違う傾向について記載します。

- 家で学校の授業の予習をしている。**45%** (+28%)
- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。**57%** (+29%)
- 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。**50%** (+23%)
- 5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた。**52%** (+21%)
- 5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた。**69%** (+23%)
- 5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた。**59%** (+19%)
- 5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった。**64%** (+29%)
- 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている。**55%** (+20%)
- 学校に行くのは楽しい。**33%** (-22%)
- 学校のきまりを守っている。**16%** (-30%)
- 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う。**12%** (-12%)
- 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている。**19%** (-15%)

よいことはさらに伸ばし、よくないことは克服できるようにサポートしていきます。